

スポーツオープンイノベーションプラットフォーム (SOIP)について

令和2年2月5日
スポーツ庁

I. Society5.0の実現

II. 全世代型社会保障 への改革

III. 人口減少下での 地方施策の強化

8. 観光・スポーツ・文化芸術 (スポーツ部分)

<KPI>

- ✓ スポーツ市場規模 (2015年: 5.5兆円) を2020年までに10兆円、2025年までに15兆円に拡大することを目指す
- ✓ 全国のスタジアム・アリーナについて、多様な世代が集う交流拠点として、2017年から2025年までに新たに20拠点を実現する

新たに講ずべき具体的施策 ii) スポーツ産業の未来開拓

① スポーツの成長産業化の基盤形成

- ✓ 中央競技団体等のガバナンス確保と収益力向上を両輪とする経営改革
- ✓ スポーツ経営人材の育成・活用 (スポーツビジネスに関するカリキュラム開発、外部人材の流入促進)
- ✓ **スポーツオープンイノベーションプラットフォームの構築による他産業との融合による新事業創出**
- ✓ 「アウトドアスポーツ」と「武道」の重点テーマを中心としたスポーツツーリズムの推進

② スポーツを核とした地域活性化

- ✓ スタジアム・アリーナ改革の推進 (個別支援、経済的効果・社会的効果の評価手法の開発)
- ✓ スポーツ施設の利用の多様化・高度化による収益性向上等
- ✓ スポーツ実施率向上 (医療機関等との連携、公的スポーツ施設の有効活用等の中長期施策の実施)
- ✓ UNIVAS及び大学の活動支援による大学スポーツの成長産業化、地域振興等

【基本目標4】4-1.（2）④スポーツ健康まちづくり

<KPI>

- ✓ スポーツ・健康まちづくりに取り組む地方公共団体の割合：20%（2024年度）

<施策の方向性>

- ✓ 多様な人々が訪れ、交流し、活力を生む「まち」をつくるためには、地域資源を最大限に活かして地域の魅力を高めることが必要。
- ✓ 「スポーツ・レガシー」をスポーツ・健康まちづくりにつなげるためには、①スポーツを活用した経済・社会の活性化、②スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防に向けた取組の推進、③自然と身体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換の3つの視点が考えられる。

<施策の概要>

- ①スポーツを活用した経済・社会の活性化**
 - ✓ 「地域スポーツコミッション」の設置等、スポーツを核とした新たな取組の創出を支援
 - ✓ スタジアム・アリーナ等を核とするまちづくりに関する取組の支援
 - ✓ **プロスポーツチーム等を活用した地域活性化や社会課題の解決促進（地域版SOIP）** 等
- ②スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防に向けた取組の推進**
 - ✓ スポーツ実施率の向上や運動・スポーツの習慣化に向けた推進体制の構築
 - ✓ 多種目・多世代・多志向に応じたスポーツ実施環境を提供 等
- ③自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換**
 - ✓ 公園の更なる活用によるスポーツがしなくなる環境整備（公園の芝生化、運動施設の設置等）
 - ✓ オンライン講習も含めたセミナー等によるスポーツ・健康まちづくりのノウハウや成功事例の普及 等

Sports Open Innovation Platform(SOIP)について

目的

- スポーツの場におけるオープンイノベーションを促進し、スポーツへの投資促進やスポーツの価値高度化を図るとともに、スポーツの場から他産業の価値高度化や社会課題の解決につながる新たな財・サービスが創出される社会の実現を目指す。



SOIPにより推進するオープンイノベーション3類型

1. スポーツの価値高度化

・ARでバーチャルをリアルで体験可能にする

する



(出典：株式会社Meleap)

・フェンシングの剣先の動きを可視化

みる



(出典：株式会社スポーツビズ)

・スポーツチーム等の新たな資金獲得

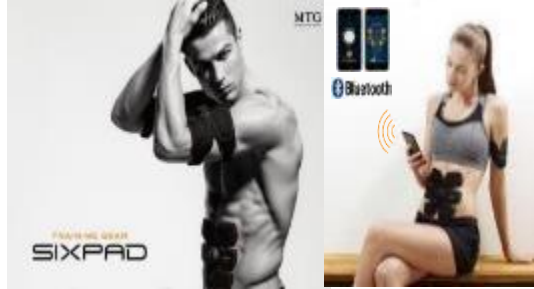
ささえる



(出典：株式会社Ventus)

2. 他産業の価値高度化

・世界最高峰の運動医科学理論、低周波特有の痛みを解消した独自波形の開発力、世界No.1フットボーラーの理論



(出典：株式会社MTG)

・アスリートの健康・コンディショニング管理ノウハウを一般の人々のライフレコーディングサービスに発展



(出典：aiwell株式会社)

3. 社会課題の解決

・徳島県美馬市と大塚製薬（株）、徳島ヴォルティスは、美馬市版SIBを実施中。
 ・徳島ヴォルティスコーチによる市民向け運動プログラム等を実施し、運動習慣や運動器に係るチェック項目の改善度合いに応じて対価が支払われる。



(出典：徳島県美馬市)

・ブラインドサッカーを活用した研修メニューを、コミュニケーションスキル向上やチームビルディングのための体験学習教材として事業展開。
 ・研修事業やスポンサー収入が収入の7割程度を占める重要な財源となっている。



(出典：日本ブラインドサッカー協会)

SOIP推進によりスポーツ市場を拡大

スポーツの価値高度化

他産業の価値高度化



社会課題の解決